

会 議 録

- 1 会議名
令和5年度第2回阿賀野市福祉有償運送運営協議会
- 2 開催日時
令和6年1月22日（月） 午後1時30分から午後1時50分まで
- 3 開催場所
阿賀野市役所 1階 第2多目的ホール
- 4 出席者
会長他委員5名、事務局1名（11人中6人出席）
- 5 議題（公開・非公開の別）
 - （1）令和5年度上半期の福祉有償運送の運営状況について（公開）
 - （2）自家用有償旅客運送登録事項変更申請について（公開）
 - （3）その他（公開）
- 6 非公開の理由
なし
- 7 傍聴者の数
0人
- 8 発言の内容

開会

○事務局

令和5年度第2回阿賀野市福祉有償運送運営協議会を開会させていただきます。本会議は、阿賀野市審議会等会議の公開に関する要綱に基づき、公開することとし、議事録は議事概要形式で会長の確認を経て、公開ホームページへ掲載することとし、あわせて議事録作成のための録音をさせていただきますのでご了承ください。

また、議事録の公開にあたっては、自由闊達な議論が妨げられる恐れがあることから、発言者の氏名を明記しないこととしたいので、あわせてご了承お願いいたします。

本日、5名の欠席があり、出席は6名であり会議成立の過半数に達しておりますので報告します。

今後の議事進行は会長の方をお願いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

○会長

それでは早速ですが議事の方に入ります。

実績報告（1）令和5年度上半期の福祉有償運送の運営状況について、事務局の

説明を求めます。

○事務局

お手元の資料に基づき、ご報告いたします。

1 ページ目、令和 5 年度上半期の運営状況の実績報告をいたします。

利用実績、身体状況ごとの会員数、利用料金分けて報告いたします。

それでは説明いたします。

利用実績について、2 ページから 4 ページに記載してあります。

事業所ごとに、車両の運行時間、運行距離、利用料金を前回と比較すると、増加傾向は 2 事業所、減少傾向が 3 事業所となっています。

全体的には、車両の運行距離が減少したことにより運行距離や利用料金は減少していますが、利用件数は、ほぼ横ばいとなっています。

身体ごとの会員数、5 ページから 9 ページ、おれんじぼーと様が会員数 1 名減、料金については 10、11 ページ、前回と変更はありません。

詳細は資料の通りとなっております。

また、いずれの団体においても、苦情、事故の発生はありませんでした。

以上報告いたします。

○会長

ただいま資料の 1 ページから 11 ページにつきましてご説明いただきました。報告が終わりましたので皆さんの方でご質問や何かご意見等ございましたらお願いいたします。

(質疑なし)

○会長

議事(1) 令和 5 年度の上半期の福祉有償運送の運営状況についての報告を終わります。

続きまして(2) 自家用有償旅客運送登録事項変更についてに移ります。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

資料 12 ページをご覧ください。

事業ごとに配置する車両の種類ごとの数に変更があった場合は、軽微な事項の変更による届け出が必要となっております。

特定非営利活動法人グリーン様から車両台数の変更届がありました。

前回との比較表をご覧ください。

前回との比較では、グリーン様の車両台数のセダン等軽車両が 2 台から 3 台に、令和 5 年 8 月 1 日から変更になり、前回より 1 台増えて 13 台となっております。

以上です。

○会長

(2) の説明が終わりました。

皆さんの方でご質問等ありましたらお願いいたします。

(質疑なし)

○会長

こちらにつきましても車両の数の変更ということで特段ご異議ないものと思えます。

ではこちらの議事の(2)につきましても、自家用旅客運送登録事項変更についての報告を終わります。

続きまして(3)に移ります。

事務局お願いいたします。

○事務局

来年度の運営協議会の開催の予定について、お伝えいたします。

来年度は2回の開催を予定しています。

令和6年12月に登録期間を終了し、更新申請が必要な事業所が1事業所となっております。

開催の時期については、報告や申請が整った段階で日程調整させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

また、新規の事業登録の申請や市外の方の申請があった場合は、また協議させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

次に、今年度、障がい者計画等の作成にあたりまして、障がい者の方々からアンケート調査をさせていただきました。その中で移動の手段の不足が課題となっております。

バスの路線や運行数の減少と、有償運送や移動支援の事業所が減少傾向にありまして、事業所の拡大は難しいような状況になっております。

外出や余暇に出かけたいけれど公共交通機関が少ない時間に運行がない、作業所へ通えない、利用しづらいなど様々な意見がありました。

また、国の方でもライドシェア等も話題となっておりますので、皆様からそれぞれの立場で現状や課題、ご意見等、せっかくの機会ですので、いただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。会長の方からお願いします。

○会長

阿賀野市だけでなく全国的な問題ですので、今朝のネットのニュースを見ても、長野市と須坂市のバスの運転手が確保できずに、土日のバスがなくなるのでは、という話が出ていました。バス会社でもそういった状況でございますので、なかなか簡単には解決するような問題ではないというふうに思っております。

当会の方でも障がい者の余暇活動が一件あるのですが、それは(今のところ)十分送迎可能です。

今、月1回、余暇活動をしたいということで、ボウリングに出かけるのを支援しております。

また、ボランティアでドライバーをお願いしているのですが、なかなか70歳を過ぎると難しいということで、実際2年に1回セダン等の講習をやっていますが、受ける方は大勢いるのですが最近ですと、県外の事業所職員の人の割合が増えてきています。

一般の方に声かけますが、いない。

講習を受けた方でも仕事があったりして、実際に実働して運転していただけない状況です。

今朝も有償運送の1回分依頼があったのですが、急遽ドライバーさん都合悪くなったということで職員が支援に入っています。

そんな状況ですが当会としては、できる限り要望に応えていきたいと考えており

ます。

○委員

利用させていただいている立場ですが、それも阿賀野市内の事業者さんではなくて新潟市内の事業所です。新潟市内だけでも手一杯なはずなのに、阿賀野市まで来て頂いて、本当に割りが合わないだろうと私は理解しています。

依頼している事業所はお付き合いが長いので、予約を入れてくださっているような塩梅だと思います。

福祉有償運送はすごくいい制度だと思ったのですが、広がっていかなかったのがすごく残念で、何よりも、この会議自体もそうですが、運輸局の方も委員にいらっしゃいますが、本当に車についてとかタクシーさんとかの競合の問題がメインで、福祉と兼ね合って膨らんでいかない。

うちは知的障がいなので、どうしてもただ送って置いてというだけでは、無理なんですね。

だから移動だけでなく余暇を楽しむためには同行して支援をしていただかないと、その部分がどうしても難しい子供になるので、移動するだけでなく同行も必要な子供や人が利用しやすいというか、そういうことご存知の方でないといけないと思います。誰でも簡単に有償運送ができるっていうわけではないところがですね、やっぱり福祉と一緒に広がっていかないのは、使えなかったなって。

もちろん今もう、この時代どこの業界でも人手不足なので、福祉の方が潤沢になるとはとても思えないので仕方ないのですが、もう少し話し合いの中でも接点がある話って今まであまりなかったなというふうに感じました。

○委員

今おっしゃったのはそうだなと思いました。

○事務局

利用者さんのご要望など、新規に利用したいという話がありますか。

○委員

障がいの方もいて、意外と知らないですね情報が無いというか。

そもそも1台でやっていて、時間っていうのは限られてしまって、大体午前中とか周知しちゃうと、お手伝いできないことが多くて、どうしたらいいのだろうという話をされるのですが、私も正直詳しくなくて、深い話ができないです。

○委員

有償運送っていうのが、つくり上げるのに組織じゃないと、割と駄目なところがあるじゃないですか。

例えば1人とか2人とかでも立ち上げられる、協力できる、そういうふうことはできないのですか。

タクシーだと、結局、基本料金などデータがあって、有償運送だと距離何キロの適用があるじゃないですか。

仕組みが全く違うので、有償運送の仕組みをまだよく知らない。

持ち込みが許可されているのは、運輸局のほうでも許可されているのか、どういう流れになっているか。

○委員

あくまでもその持ち込みの場合は、ヘルパーがまたその運転手のお車をその人しか使えないっていう前提になって、あとはごく普通の申請です。

先に運輸局の方も申請して、それから3ヶ月に一回の運転の報告を市の方に出します。

持ち込みは今現在3人います。

うちはその他の店舗があります。

店舗の場合だと、警察とかそういうところにいろいろ聞いて、それで最初に看板に、飲酒とか疲労とか、体調とかそういうのを書いてスマホで取って、アルコールチェックですね、アルコール反応無しかをちゃんと撮って送っていたが、音声でないと駄目ということで今はそれをやめて、毎朝必ず会社の方に音声で、その報告をすることになっています。

○委員

持ち込みの人達は資格があるのですか

○委員

もちろん資格あって運転講習を受けて、ヘルパーの資格があります。

○委員

阿賀野市の事業所は募集などしていないのですか。

○会長

うちの有償運送をやっているのは一応ボランティアさんで、そこでセダン講習とか、車椅子の操作とか、一応習っていただく。そのレベルですね。

○委員

持ち込みで増やそうかなとかは考えていないのですか。

○会長

そこまで手が回りませんね。

○委員

阿賀野市は運転講習をやっていただいています。

○会長

新潟市はやったりやらなかったりする時があるので、ちょっと不満がいっぱいあるみたいですね。

○委員

今やっている人4~5名が県外に行っています。秋田、福島、埼玉、長野、そちらの方に出張扱いで行ってもらって、研修を受けています。他県が講習をやって秋田あたりまで行って一生懸命やっているのに新潟市はちょっと講習がすくない。

○会長

コロナ禍でしたので、集まらなくていいというような指導で、オンラインで今年も講習会をやるのですが、2年前の更新の時は富山から何人か、オンラインで参加させてくださいということで、受講がありました。

新潟市さんも当然あるのですが、地元よりも県外の方はセダン講習等の資格を取得した方が不在となると事業者さんもやっぱり死に物狂いですので、その辺でやっぱり新潟市さんがやらないという話あったりすると、事業所の皆さんが大慌てするところもあったようですね。

○委員

入社して働きたいけど、福祉有償運送のその運転講習を受講しなければ運転できないからその間、3か月4か月一緒に乗って、同行してもらってこういうふうにするんですよというように我々が今回やるような状態ですよ。

もう少し、せめて1年間に2回か3回からやってもらいと非常に助かります。

○会長

阿賀野市は2年に1回ずつです。

その割になかなか定着して動いてくれる方がなかなかなくて、その辺がちょっ

と悩みの種なのですが、特に他に何かありますか。

○委員

うちの一番の今の課題はやっぱり人手不足です。

今、大体その月に最低でも3件か4件の新規の依頼が来ますが、ほとんどお断りします。残念ですけどね。要は、給料が安いってことがあると思います。

だから今回の改訂には非常に期待しているところはあります。

それからあと、移動支援事業ですか、地域支援事業というのと、あと居宅介護、家事援助とか、それから通院、身体介護とか、それを利用しての事なのですが、福祉有償運送事業という格好をとっています。

移動支援ですが、その価格の問題ですよ。

今、毎月もう原価計算やっているのですが、あと保険とか、修理費、車検、それからあと運転手当とか、ガソリン代が一番大きいですよ。

やっぱりこの頃ちょっと落ち着いてきたけども、12月で原価ですね98円くらいです。

1キロ100円での定価なのですが、98円です。

ですからまだまだ、上げたいのですがなかなか上げられないというそういう部分があって、そろそろ考えなきゃいけないかなという感じですけどね。

新潟市内においても止める事業所が多いですね。

うちの地域でも1社、他の事業もやっている所なのですが、とても福祉有償運送事業としての採算取れないってことで、うちの事業所にやってくれないかって話になって、車1台、移譲していただいて、やっている状態です。

その事業者はもう、福祉有償送事業は廃業しました。

それからまた西区でもまた今回1か所止めるって話で、やっぱり採算が合わないですよ。

大きな企業でしたら、例えば、いろんな施設を持っているとか。その中でやっているところは40円とか50円とか、比較的安い。本体の方は、赤字覚悟でやっているわけですよ。その代わり赤字だから他にいろいろ進められないわけですよ。自分のところの施設をご利用の方の運送事業をやるけれども、全くそこに関係ない人にやっていただけませんかという話は断れるわけですよ。

うちの方はもう、80%以上が大体、福祉有償運送事業を伴った福祉サービスやっていますので、福祉有償運送の値段を100円として、他のサービスの方が高いので、極力受けている状態です。地域支援事業をやっていて、どこでヘルパーがサービスしても、処遇改善加算はつかないですよ。処遇改善加算はあくまでも、国の事業ですからね。

それは実際に新潟市の方に協議会の方にも訴えておりますけども、そういうのもできることなら阿賀野市の方もぜひその辺考えていただきたいですね。

○事務局

ありがとうございます。

○委員

利用者の立場での話や事務局からもありましたように、アンケートでも移動手段がなかなか難しい、ニーズは結構あるのかなっていうことでうちの方も考えておりますが、一方事業をやめるところが多い。当然採算がよければ、皆さんやるかと思いますが、なかなかその辺が厳しいという話をお聞きして、この辺のギャップをどう埋めていくかの、うちの市だけではなくて国の方もちょっとは動き出してきた面はあります。やっぱりそれぞれの処遇というのはなかなか、劇的にはよくなるな

い。日本全体で人手不足となって、バスの運転手もなかなか見つからないのは、うちの総務課でやっている交通協議会の方でも話がありました。その辺はうちの市だけではなくて、国全体でどうしていくのかが一番大事なのかなという事で考えております。

あとはその中で市として何ができるのか。

いろいろ考えていきたいなというふうに改めて思ったところでございます。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございました。

○会長

他、皆さん委員の方、何かご意見、この機会ですので、ございましたら。

(質疑なし)

○会長

特になければ、本日の運営協議会、これで終了させていただきます。

ありがとうございました。